

TERADATA VANTAGE を選ぶ理由

Vantageをゲームチェンジャーにする差別化要因トップ10

Vantage は、パーベイシブ・データ・インテリジェンスを実現する唯一のプラットフォームです。他のアナリティクス・プラットフォームを卓越する、様々な優れた機能を提供します。

1

クラウド、マルチ・クラウド ハイブリッド・クラウド

Vantageは、AWS、Azure、Teradataクラウド、お客様のデータセンター、VMwareに展開可能です。オンプレミスとクラウドを組み合わせ、本番、テスト、開発、ディザスタ・リカバリーそれぞれの環境を構築し、リスク分散できます。

6

確実に安全な、信頼できる結果

Vantageの統合されたデータ基盤により、組織内のあらゆるユーザーが信頼できるキュレーション済みのクリーンなデータを利用できるようになります。それが、組織の「1つの真実」実現につながります。

2

データおよびアナリティクス環境の統合

Vantageは、データ管理とアナリティクスの実行を一つの環境に統合します。これにより、ビジネス上の複雑な課題に対する迅速な結果をもたらします。

7

あらゆるツールおよび言語の中から 好みのものを選択可能

Vantageでは、組織内の各ユーザーが、各自のビジネスニーズに応じた好みのツールおよび言語を使用してアナリティクスを実行することができます。

3

世界トップレベルの企業から信頼されている、 完全統合型のデータ基盤

数々の有名企業が、Vantageで統合したデータに対するミッションクリティカルなアナリティクスを全社で大規模に実施しています。

8

分析エコシステムの統合とシンプル化

Vantageは、シングルポイントですべてのデータにアクセスすることを可能にし、分析エコシステムをシンプル化します。ユーザーは、必要なデータがどのシステムに存在するのか気にすることなく、複雑なビジネス課題の解決に集中できるようになります。

4

リニアな多次元的スケーラビリティ

Vantageでは、進化するビジネス・ニーズに対応して、データ量、同時実行数、ユーザー数などの増加に対応してパフォーマンスの拡張が可能です。

9

ライセンスのポータビリティ

Vantageのライセンスは、ポータビリティを提供します。オンプレミスとクラウドの間で簡単にワークロードを移行させることが可能です。ライセンス移行費は不要なため、デプロイ先決定のリスクを排除できます。

5

多ジャンルのアナリティクス

Vantageは、1つの分析ワークフロー内で複数のアナリティクス技法を組み合わせることで、ビジネス上の最も難解な質問に対する答えを導き出し、より深いインサイトをもたらします。さらに、新たなデータを探索し、キュレーション済みのデータと統合し分析することが可能です。

10

自社管理だけでなく、テラデータに 委託可能な運用管理

Vantage環境のプロビジョニングと管理（ソフトウェア、インフラストラクチャ、パッチ、アップデート、セキュリティ、日次バックアップを含む）は、テラデータに委託することも、お客様自身ですべて実行することもできます。決めるのはお客様です。

これらは、Teradata Vantageを差別化する上位10項目にすぎません。Vantageのあらゆる機能は、何でも分析し、どこにでもデプロイし、シンプルながらパワフルなアナリティクスを実現することを目的として設計されています。

詳細については、teradata.jp/vantage にアクセスしてください。

teradata.